

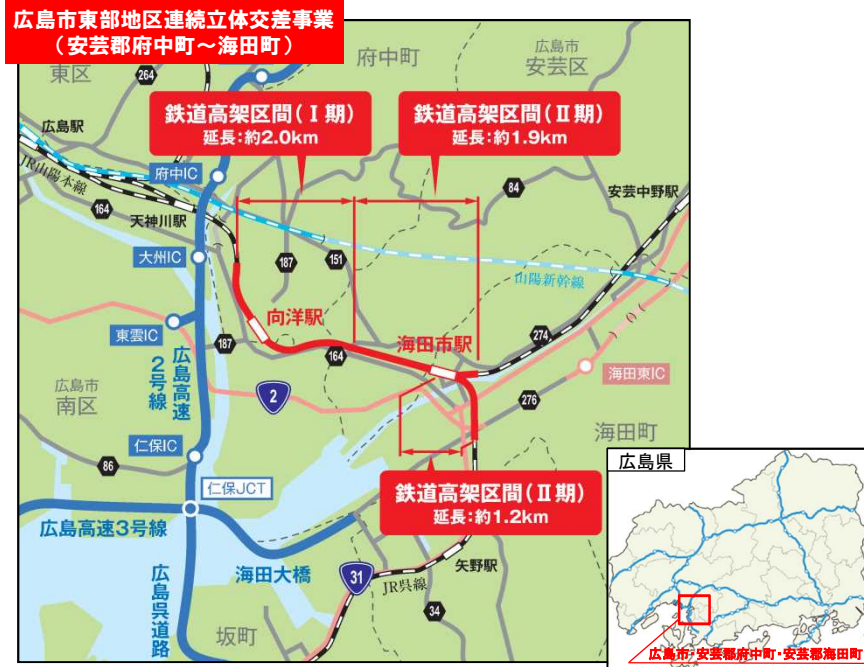
6 社会資本整備の推進

(5) 交通の円滑化などによりまちづくりを促進する連続立体交差事業の推進

国への提案事項

広島市東部地区連続立体交差事業の着実な推進に必要な財政措置

交通の円滑化，市街地の分断の解消及び踏切の安全確保を実現し，まちづくりを促進する連続立体交差事業の実施には，長期的に多額の事業費が必要であるため，着実な事業推進に必要な財政措置を行うこと。



鉄道高架と関連街路の整備イメージ (JR向洋駅付近)

【提案先省庁: 財務省, 国土交通省】

6 社会資本整備の推進

(5) 交通の円滑化などによりまちづくりを促進する連続立体交差事業の推進

現 状

【地域の状況】

- 広島都市圏東部地域では、鉄道による市街地分断が効率的な基盤整備を阻害
- 踏切が多数(16箇所)あり、踏切遮断による交通渋滞や踏切事故が発生

【取組の状況】

- 令和元年5月に都市計画変更し、同年10月に事業認可を受け、鉄道高架化に係る詳細設計に着手
- 早期の鉄道工事着手に向け、支障物件の移設や仮線用地の更地化等の準備事務を推進中

【国の対応状況】

- 令和元年度より連続立体交差事業の個別補助制度を創設

課 題

広島市東部地区連続立体交差事業の実施には

- **長期的に多額の事業費が必要**
- **着実に事業推進できる財政措置が必要**
- **財政状況の厳しい地方負担の軽減が必要**

事業区間内の緊急に対策の検討が必要な踏切

多くの歩行者に踏切遮断の影響



青崎第10踏切(府中町)
(歩行者ボトルネック踏切)

1時間当たり最大約44分の踏切遮断



新町踏切(海田町)
(開かずの踏切)

